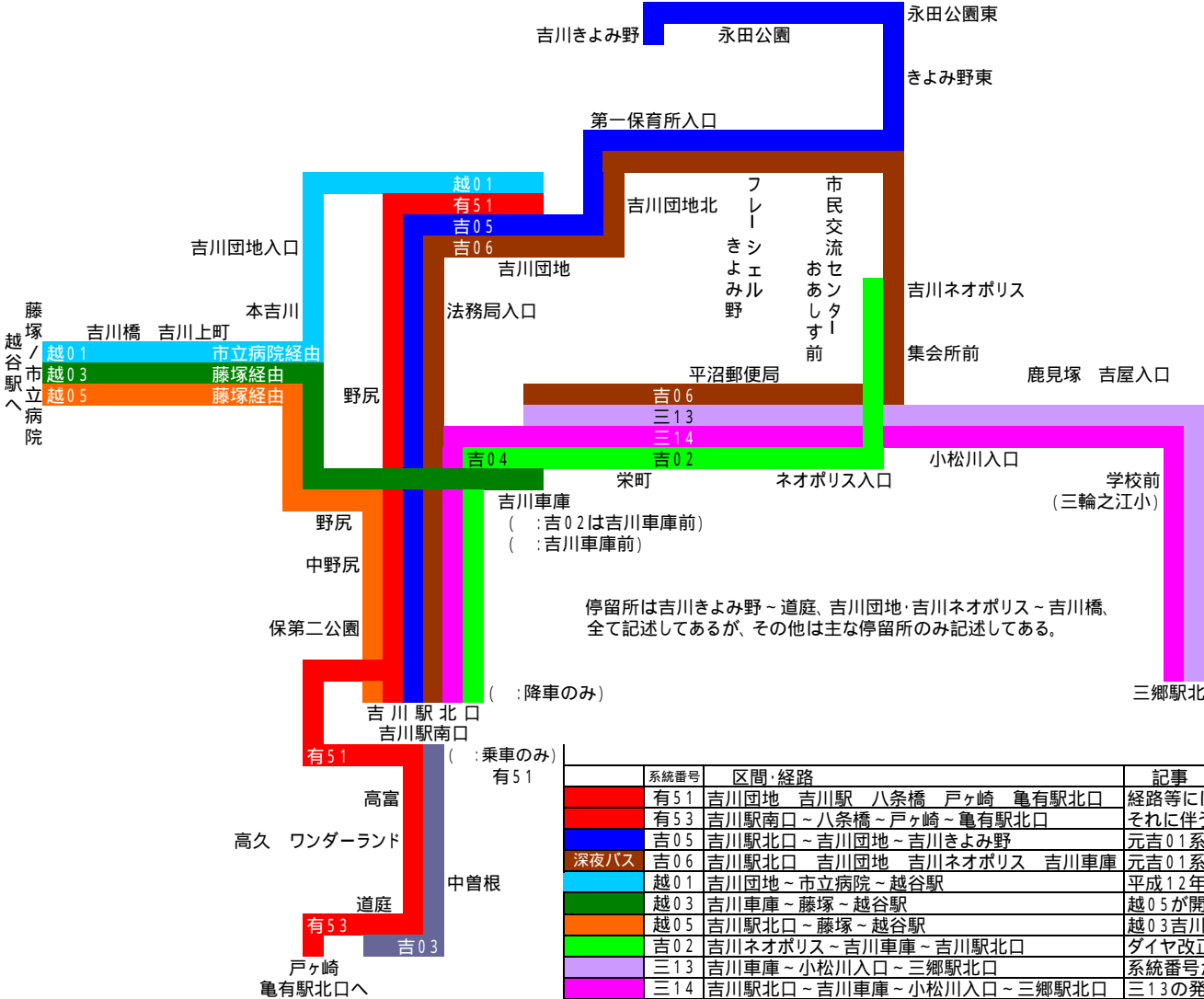


東武バス 吉川市内路線概略図（平成12年頃）



平成11年に前新田經由三郷線が廃止された。また、越03の吉川車庫～ネオポリスが廃止になったが、越谷から吉川駅までの越05が開設され、越03は大幅に減便された。平成11年4月に吉01系統が延長された形で新吉05系統が開設され、吉川団地北が移動し、元の吉川きよみ野は市民交流センターおあしす前に改称、路線を北側に延長して新たに吉川きよみ野とし、4台程度留置できる操車場の役割も備えるようになった。また、同時期に吉01の深夜バスは吉06とし、吉川団地から市民交流センターおあしす前、吉川ネオポリスを経由して吉川車庫まで運行されるようになったが、途中吉川ネオポリスから運賃が下がる不思議な現象が発生している。そして分社化がおちこちで起こる中、平成12年4月に越谷営業所が朝日自動車に営業譲渡されるというショッキングな出来事が起こり、越01・03・05が朝日バスとして運行されるようになった。この時点で系統番号が消滅している。吉川出張所(当時)の営業譲渡も噂されたが、東武バスそのものが東武鉄道から分社化され、吉川は東武バスセントラル吉川営業所として「東武バス」の名が残ることになった。止まっていた車両の更新が平成13年頃から始まり、東武バス初の新7Eノンステップtype-Aが4台配属され、吉05系統を中心に運行開始した。朝日バスに変わった越谷線は中型車が中心となり、日野のRJ、HR、いすゞエルガミオなどで運行されるようになった。

停留所は吉川きよみ野～道庭、吉川団地・吉川ネオポリス～吉川橋、全て記述してあるが、その他は主な停留所のみ記述してある。

	系統番号	区間・経路	記事
	有51	吉川団地 吉川駅 八条橋 戸ヶ崎 亀有駅北口	経路等には変化はないが、平成11年3月に有52系統が廃止され、それに伴うダイヤ改正で減便が進む。
	有53	吉川駅南口～八条橋～戸ヶ崎～亀有駅北口	
	吉05	吉川駅北口～吉川団地～吉川きよみ野	元吉01系統が延長され、新「吉川きよみ野」までの運行となった
	深夜バス	吉06	元吉01系統の深夜バスが延長され吉川車庫までの運行となった
	越01	吉川団地～市立病院～越谷駅	平成12年4月に越03・05と共に朝日へ移管
	越03	吉川車庫～藤塚～越谷駅	越05が開設されたことにより大幅に減便。
	越05	吉川駅北口～藤塚～越谷駅	越03吉川車庫行の大部分を吉川駅行に変更して新設された。
	吉02	吉川ネオポリス～吉川車庫～吉川駅北口	ダイヤ改正ごとに増便された。
	三13	吉川車庫～小松川入口～三郷駅北口	系統番号が三01から変更された。逆にわずかながら増便された
	三14	吉川駅北口～吉川車庫～小松川入口～三郷駅北口	三13の発着を吉川駅に延長した系統。本数は数本のみ
	吉03	道庭 吉川駅南口	朝方に道庭から吉川駅まで運行。道庭行の幕は使われなかった